

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 笠岡 良雄 (安倍 茂)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 4)
------	-------------------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	約 3億円 (うち用地補償費 0.5億円)
		特殊改良一種事業 国道429号 神子畑 ^ハ バ ^ス	朝来町神子畑 L = 720m		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
兵庫県朝来郡朝来町神子畑				H14年度	H17年度

事業目的	事業内容
<p>交通の安全性の確保 人家連担部における未改良区間(現況車道幅員W=4.0m)の整備を行い、防災面での強化を行うとともに、沿線地域からの播但連絡道路朝来ICへの利便性の向上を図る。 地域づくりと一体となった道路整備 朝来町による地域活性化事業と併せての道路整備により、効率的な事業効果の発現と地域づくりへの寄与を図る。</p>	<p>道路改築(バイパス) 全体延長 L = 720m W = 6.5(9.0)m : 2車線 交通量(台/日): 現況 1,096 計画 1,300</p>

評価視点	評価内容
(1)必要性 安全・安心を確保するみちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路となる国道の整備 本路線は緊急輸送路であるが、神子畑地区は、幅員狭小で大型車のすれ違いが困難なため、早期整備を行い防災面の強化を図る。
地域の発展を支えるみちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化 朝来町の神子畑地区活性化整備事業として県指定文化財「ムーセ旧居」保存修理事業をはじめ、周辺の体験型学習施設や福祉施設の整備が計画されている。道路の整備により、地域の活性化を支援する。
開かれた兵庫を築くみちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 交通拠点へのアクセス確保 交通拠点である播但連絡道路朝来ICへのアクセス性の向上を図る。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 国道429号の6町による「国道429号千種・青垣間改良促進協議会」にから早期整備の要望有り
(2)有効性・効率性 有効性 代替性 効率性 (事業執行環境)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送路として整備することにより地域の安全性を確保するとともに、神子畑活性化事業等との一体施工により地域の活性化を支援する。 現道拡幅では、より多くの家屋移転や河川工事と法面对策が生じるため、事業費および事業期間が増大することから、神子畑選鉱場跡地利用ができるバイパス整備が妥当である。 町の整備事業計画と整合させることにより、効率的な事業執行を図ることができる。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅でなくバイパス整備とすることで、切り土法面による保安林への影響をなくし、また円山川水系神子畑川の付替工事を避けることができ、自然環境への影響を軽減する。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 但馬地域における過疎化・高齢化が進むなかで、緊急輸送道路の確保、交通の安全性確保のための基盤整備が必要であるとともに、地域の活性化事業と連携して整備を行い、事業効果をより効率的に発揮するため、早期に整備着手をする必要がある。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------